

【あいさつ】

こんばんは。本日は、この市政懇談会にお集まりいただきありがとうございます。  
市政懇談会は2年に一度の頻度で開催しており、2年ぶりとなります。皆様から市政に対してご意見ご要望をお聞かせください。

【市政の現状と今後について】

市長4期目の責務として、1つは、将来にわたって行政運営が持続可能な安定的財政基盤を作り上げること、もう1つは、若年層人口の増加への環境整備を行うこと、この2つを大きな目標として掲げ、実現できるよう精一杯努力してまいりますので、皆様のご指導ご協力をお願いします。人口減少問題に対しては、将来にわたり3万人を維持していくことを総合戦略の中心に掲げており、この目標は非常にハードルが高いものだと考えています。目標を達成するためには、若年層の人口を増やしていく必要があります。市では、様々な施策に取り組んでいますが、お配りした資料「ことしの予算」の表紙にありますとおり、子育て世代の人口増加をコンセプトとした施策に重点を置いています。これから、この資料に沿って市が取り組んでいる事業等について説明します。

■子育て支援

・不妊治療費の助成

今年度から実施する新規事業で1回当たりの治療費助成10万円を上限に年3回まで助成します。これまでの実績を踏まえ10人分程度を見込んだ予算ですが、さらに増加する状況になれば補正予算対応します。

・子ども医療費の助成

中学校3年生までの医療費助成を今後も継続します。

・病児・病後児保育

鋸南町、館山市の病院に委託していますが、10月下旬頃から七浦診療所が実施する予定で市民対象施設は3箇所になります。

・預かり保育・学童保育

預かり時間の延長要望を子育て世代からいただいています。現実的には保育士の確保等課題がありますが、新年度に向けて少しでも時間延長が図られればと検討しています。

・教育相談センター

市独自施策で、様々な不安を抱える家庭の相談機能として職員を5人配置しています。新年度に向け強化を検討します。

■教育の充実

教育目標として1つは、学力の向上、もう1つは、南房総学の推進を掲げています。

・小学校5・6年生への習い事支援

学習塾や文化活動あるいはスポーツ活動等習い事に係る月謝への補助としてクーポン券を発行させていただきます。家庭の経済的問題に左右されることなく、全ての子どもたちの可能性を伸ばすことの一助になればと考えています。最大月額 7000 円の補助となります。

・南房総学の推進

子どもたちが生まれ育った地域の文化伝統を学び理解することで、郷土への誇りや愛着心を育もうという事業です。

■がんばる「人」・「企業・起業家」を応援

・再チャレンジ奨学資金

U I ターンや転職、起業や再就職を目指す人が、知識や技能を身につけるため、新たに就学する場合に奨学資金をお貸ししています。対象者はこれまでの30歳以上から60歳未満までを25歳以上からに拡大し、最大で月額6万円、3年間の利用が可能となりました。返済についても、条件によっては全額免除される制度となっています。

一旦は都会に就職したが事情でこちらに戻りたい場合、資格やスキルを得て起業や就職することを考えると思いますが、その際に役立ていただきたい事業です。

・看護師等修学資金

これまで、54名の方々に利用していただいています。

・スタートアップ人材育成

この地域で新たに事業を展開する企業の設備投資と雇用経費を補助するものです。設備投資に関しては最大で500万円まで、賃金補助に関しては一人当たり60万円まで補助し、応援いたします。これまで、約30社に活用していただいています。

・中小企業人材育成事業

社員の人材育成やスキルアップを目的に実施する資格取得のための経費を1人当たり20万円補助するものです。

・住宅取得補助

40歳未満の方あるいは子供さんがいるご家庭で、施主として家を建てる場合に補助

をする制度で、最近の実績として、28年度は29件、29年度は24件、今年度も17件の補助を行いました。

また、今年度から、転入してくる若い世代への住宅取得の奨励補助を200万円に拡充をしました。

・空き家バンク

毎年平均して貸家登録は10件程度に対し、借りたい登録は、20件程度の状況にあり、貸しても良いという方がいましたら、登録をお願いします。これまでこの制度を利用して累計で66名の方が転入しています。引き続き移住定住者の増加につなげてまいります。

・婚活イベント

市内で2箇所程度、商工会等に委託して実施しています。平成29年度は、2組が結婚した実績があります。今後も継続的に実施してまいります。

■行財政改革の推進

これからも引き続き持続可能な行政運営を目指し、効率的で効果的な行政運営、サービスの提供をしてまいります。

・市役所本庁舎の大規模改修

建築から35年以上経過している本庁舎の耐震性の強化及び老朽化に伴う改修工事を今年度から3箇年の継続事業として実施しています。

■安心・安全なまちづくり

・自主防災組織補助金

各行政区で、自主防災組織を作り、災害備蓄品等を購入しようとする場合に20万円を限度に対象経費の2分の1を補助します。

■し尿処理施設建設事業

建設場所は紆余曲折がありましたが、現在のところ三芳の御庄地区を建設場所とし、今年度は、地質調査及び基本計画の策定業務を実施しており、平成35年度の稼働を目指して事業を進めています。

■ごみ処理施設整備事業

ごみの焼却場の建設に関しては、上総4市（袖ヶ浦市、木更津市、君津市及び富津市）が、ちょうど我々が建設しようとする同じようなスケジュールで整備することから、私どもとして、上総4市の事業と一緒にやらせてもらった方が良いかどうか、検証しました。検証結果は、経済的にメリットがあり2市1町（南房総市、鴨川市及び鋸南町）から正式に上総4市へ参加の申し入れをしました。平成39年度から40年度の開業を目指しており、円滑に進めていけるよう最大限の努力をしていきたいと思っております。

■財政状況について

市の借金残高は約245億円ですが、そのうち市が実際に自身で負担する額は約23億円です。この差額は、国が交付することになっています。

平成29年度の決算状況では、市の借金245億に対し、貯金（基金）は、252億円と借金を上回り、将来に備えた基金を十分に確保しています。現在の財政状況は、健全であります。これからまだ先々厳しくなることが予測されていますので、基金をしっかりと管理し、将来のために備えていきたいと考えています。

■国保病院の運営について（富山）

国保病院は、今年度当初、運営条件が整わなければ9月末をもって土日夜間の診療を中止すると申し上げましたが、医療職の数が充足されましたので、これまでどおり24時間365日の医療体制を続けていきたいと考えています。現在の医師の数は、常勤3名、非常勤11名の体制です。医療現場は、総じて医師の献身的な努力により成り立っているところがあります。本院では、労働基準監督署の調査により過重労働の状況にあるとの指摘を受けました。今般、その問題は回避されましたが、今後も安定的に医師が確保されるとは言いきれず、状況に応じて考えなければなりません。

今後、地域ニーズに合った医療体制を考えていく中、安房地域医療センターを運営している太陽会と地域医療連携推進法人を設立し、地域に必要な医療の充実を目指し、医療機関として継続して運営していく検討をしています。

医療機関が担う区分として、高度急性期、急性期、回復期とありますが、一般の病院が担う急性期は、安房地域においては、人口減少等を原因に供給過剰の状態にあり、本院の経営は悪化しています。今、地域包括ケアという医療供給体制が求められています。本院では在宅復帰を目指し、診療、看護、リハビリ機能を充実強化していく病院に切り替えて

いこうとしています。専門の医療従事者は、太陽会との法人設立により、派遣を受けることを検討しています。転換には県の認可が必要であり、その取得のための手続きに入り、実態として新年度から新体制に切り替えていきたいと考えています。地域の皆様の利用に関しては、今までと変わりはありません。

■旧忽戸小学校の跡地利用について（千倉）

11月末まで利活用提案を公募しています。提案内容を踏まえ、4年間の任期の中で、再整備の目処をつけたいと考えています。

■旧丸小学校幼稚園の利活用について（丸山）

市では、人口維持のため雇用の場の確保等に取り組んでいますが、地元の皆様の御理解をいただき、旧丸小学校跡地にグロリア株式会社が新社屋を近々オープンする運びとなりました。今後も、閉校した施設等の利用を中心に企業誘致をし、雇用の場を広げていけたらと考えています。

■閉校施設の利活用について（和田）

旧和田中学校は、嶺南中学校の一部として使用していますが、改めて活用案を探るため、利活用提案を11月末まで公募しています。提案内容を踏まえ、有効活用していきたいと考えています。

また、小学校の統合により、来年4月1日から南三原小学校と和田小学校が閉校となりますが、跡地利用につきまして、皆様からいろいろな提案をいただく機会を作り、真剣に考えてまいります。